

産業の振興

農業の基盤整備と担い手確保対策を継続し、大規模野菜団地の整備を進めます。農業者の経営を改善するために、スマート農業の実証実験に対し助成します。有害鳥獣対策は、モデル地区での実証実験などの取り組みも追加し、農作物被害の低減に注力します。

コワーキングオフィス(共同オフィス)の活用やパラレルワーカー(複業者)との交流を通して、市内事業者の活性化を図り、就労・就業の機会を拡大させます。

▶農業振興の基盤整備:2.5億円

- スマート農業技術実証調査 **新規**

▶森林資源の適切な管理:0.5億円

- ひろしまの森づくり

▶有害鳥獣対策の実施:0.6億円

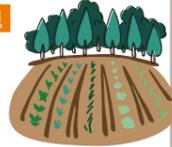
- イノシシ対策実証実験 **新規**

▶農業者の支援:2.4億円

- 中山間地域等直接支払

▶地域の仕事づくり:0.6億円

- パラレルワーク等創出 **新規**



多様性の構築

多文化共生や男女共同参画など、ダイバーシティ(多様性)の観点からも「人権の尊重」は、重要性を増しています。引き続き啓発活動を実施し、市民の意識を高め、障害者や外国人などのマイノリティを含む全ての市民が相互理解を深め、幸福を追求できる社会を目指します。

▶人権啓発の推進:0.2億円

- 多文化共生拠点施設運営
- 多文化共生推進員・相談員等の配置



文化・芸術の振興

伝統芸能のひとつ「神楽」を、世界に通じるコンテンツとして、情報発信を強化し、知名度と人気を一段と高めます。

市内の観光施設を運営する第3セクター等の経営状況を細かく分析し、施設の設置目的や採算性などの再検証を行い、市全体の最適化を図ります。

▶生涯学習の充実:2.9億円

- 文化芸術振興
- スポーツ振興



▶地域の文化・歴史・スポーツを活用した地域活性化:0.3億円

- 神楽による観光プロモーション
- 毛利元就関連没後450年・入城500年 **新規**

▶公共施設等の安全の確保:1.3億円

- 観光振興施設改修

生活環境の向上

市道・上下水道等の利便性向上、施設の長寿命化などに取り組み、ごみ問題はリサイクルだけではなく、リユースの普及を推進します。

地域活性化のため本市の魅力を市内外へ発信する取り組みを強化します。持続可能な地域づくりを進めていくため、地域振興組織への支援の見直しや、若者世代も取り込める枠組みの構築を目指します。

▶ごみ減量化の推進:2.9億円

- 資源リサイクル推進

▶協働によるまちづくり:0.5億円

- 地域振興組織支援

▶地域の魅力づくり:0.5億円

- 事業型地域おこし協力隊 **新規**

▶移住の取組:0.2億円

- 優良住宅団地開発支援

▶空き家の対策:0.3億円

- 空き家活用

▶生活インフラの整備・維持:7.2億円

- 主要市道改良



令和3年度は、新型コロナウイルス感染症により先行きが不透明な中、市民が安全に安心して暮らせるよう感染拡大防止と社会経済活動の両立を図る必要があります。

経常収支比率が98.2%と財政の硬直化が進む中、財政調整基金の残高は約6億円まで減少しています。将来世代に負担を先送りしないためにも、歳入における自主財源の確保と、歳出における全体最適を意識した事業の見直しにより、財政の健全化を推進します。

令和3年度の主な事業

医療・介護・福祉の充実

高宮町の小学校統合に合わせた児童クラブの開設や、保育士等の処遇改善を進め、妊娠から子育て期におけるワンストップ支援「ネウボラ」の構築にも取り組みます。

大腸がん検査や脳ドック等への助成を拡充し、保健事業と介護予防の一体的な運用を展開していきます。

▶子育て医療の充実:1億円

- 乳幼児等医療費助成
- ネウボラ



▶子育て支援の充実:3.6億円

- 放課後等デイサービス
- 放課後児童クラブ整備

▶相互扶助による生活支援・介護支援:0.1億円

- 地域介護予防住民グループ支援
- 家族介護教室

▶健康増進計画による健康づくり:0.6億円

- 介護予防
- 生活習慣病重症化予防

▶福祉相談事業の充実:0.6億円

- 地域包括支援センター運営
- 障害者基幹相談支援センター運営

▶障害者支援の充実:9.5億円

- 障害者自立支援訓練等給付

▶地域医療体制の充実:1.3億円

- 救急告示病院運営支援
- 休日夜間急患センター運営支援



危機への対応

新型コロナウイルス感染症に対し、関係機関と連携を密にして早期のワクチン接種実施を目指します。感染防止対策にも全力で取り組み、必要な支援を行います。

継続している災害復旧事業の早期完了や危機対応能力の強化を図ります。

▶新型コロナウイルス感染症対策:1.8億円

- 新型コロナウイルスワクチン接種

▶安全・安心を守る取組:2.2億円

- 常備消防車両更新
- 土木施設災害復旧



教育の推進

1人1台端末などICTを活用し、総合的な生きる力が高まるよう、教育の質を追求します。

校務支援システムの導入や、学校のトイレ洋式化など施設改修を行い、教育環境の充実を図ります。

将来の幼保一元化を視野に入れ、新たに吉田幼稚園で3歳児の受け入れを開始します。(令和3年4月1日から受け入れ開始)

▶学校教育の充実:3.4億円

- 学校施設改修
- 教育のICT化推進
- 個別最適な学び推進

